

愛知ト協支援委 & 適正化実施機関

健康起因事故を防止 関心高まり受けセミナー



【愛知】愛知県貨物自動車運送適正化事業実施機関(小幡銀伸本部長)と愛知県トラック協会の支援委員会(若杉福雄委員長)は8

月25日、名古屋市で適正化セミナーを開いた。

ドライバーの体調急変による事故が多発傾向にある中、健康管理に関心が高まっていることを受け、対策を学ぶため実施。ヘルスケアネットワークの作本貞子副理事長が「トラック事業者における健康起因事故対策」をテーマに、ドライバー不足と高齢化時代をどう乗り切るか講演した。

また、受講証明証の発行に加え、健康起因事故の防止マニュアルやポスターで、社内への周知を呼び掛け。

事務局では「健康起因による事故が問いただされておき、安全のための予防や防衛策は重要度を増している。ドライバーへの周知と会社のコンプライアンス(法令順守)に講習を役立てて欲しい」としている。

(梅本誠治)

防止マニュアルやポスターで、社内への周知を呼び掛け